

さくら

平成 29 年 10 月 5 号(29-05)
桜小学校長 発行

<http://sakura-e.yatomi-schoolnet.jp/>



(児童の感想より)

「きずなと協力のバトン」で創り上げた運動会でした

吹く風にもさわやかな秋が感じられる、絶好の秋空のもと、多くの皆様をお迎えして、桜小学校の運動会を開催することができました。今年度の児童会による運動会のテーマは、「みんなでつながろう きずなと協力のバトン」でした。運動会では、自分の役割を自覚するとともに、皆で協力し合ってよりよい運動会を創り上げようという気持ちが児童から伝わってきて、ほほえましさとともに頼もしさを感じられました。

短い練習時間の中でここまで素晴らしい運動会を創り上げることができたのは、子どもたちの一生懸命さはもちろん、保護者の皆様のご支援のおかげであると強く感じました。学校の練習だけでは満足できず、家で自主練習をしたり、時には保護者の方に練習につきあってもらったりするなどした児童も少なからずいました。また、子どもたちは、家庭で多くの励ましの言葉をもらって運動会に臨んでいました。改めて感謝申し上げます。



- 私が運動会で頑張ったことは、ミニオンズのダンスで笑顔を忘れずに踊ることです。そして、行進で、みんなの指先までピンと伸びていてきれいなのを見て、泣きそうになりました。
- 「きりり☆全力ソーラン」では、最初はやりたくない、むずかしいという気持ちがありました。先生や4年生の人のお手本で、楽しくできました。来年は3年生のよいお手本として頑張りたいです。
- 私は、ソーラン節で、特にかげ声や組み立てを頑張りました。そして、バトンの演技も頑張りました。運動会でうれしかったことは、友達とよく協力できたことです。協力して、応援や競技を頑張った良かったと思います。
- ソーラン節の声を頑張りました。みんなのやる気があったから、ぼくも頑張ろうと思いました。
- リレーで負けてしまい、がっかりして席に戻ると、席のとなりの友達が、「すごかったよ」「負けちゃったけど良かったよ」と声をかけてくれて、がっかりしていた気持ちが飛んでいきました。私は、順位だけではなく、協力して全力で出した結果を喜ぶことこそ大切なんだと改めて思いました。
- 私は、組体操で、二人技のふく十字という技ができませんでした。家で、たくさん練習したら、なかなかできなかったふく十字が軽々とできるようになりました。もうひとつ頑張ったのが、ピラミッドです。とても難しい技でしたが、みんなと心を合わせて頑張ろうと思いました。本番で、みんな「せえの」と心と声を合わせて、大成功しました。これからの人生においてもみんなと心を合わせることを忘れないようにしていこうと思いました。